



2021年4月25日

2021年度 親子森林教室 開校式の報告



4月18日開催予定だった開校式を1週間順延してこの日に行いました。しかしながらこの日も時々小雨が降る肌寒い日で、途中から雨・風が強くなり、あわただしく式だけを行い一時間ほどで終了しました。

それでも、新しい隊員たちの元気な姿が見られて、森ボラのおじさんやおばさんたちの顔もほころんでました。これから始まる隊員たちとの一年間の教室が楽しみです。

この日予定していたキノコの植菌体験は2回目で行います。



▲森ボラの樫棒(かしぼう)代表より歓迎のあいさつを行いました。



▲清澤(きよさわ)隊長が今年の森しり隊員を紹介しました。



▲大窪(おおくぼ)さんが森の活動での諸注意について話しました。

【2021年度生の仲間】

開校式は登録隊員25名中20隊員が参加して行われました。本来は各隊員と保護者の方から自己紹介していただくのですが、天気具合から清澤隊長が各隊員を紹介する形式での紹介となりました。



第2回開催のご案内

青葉につつまれた初夏の森が、皆さんを待っています!!!

■日時:6月27日(日)9時30分~14時30分

(注)当初予定の6月13日を2週間順延します。なお、27日が雨天中止の場合は更に1週間順延はしません。

【活動内容】

①播種(はしゅ)体験



木から落ちる種を、地上に網を張って集める方法をシードトラップと言います。当日はハルニレの木の下に仕掛けたシードトラップから種をひろってマイポットに播(ま)きます。

②五感で感じる初夏の森歩き



新緑が眩(まぶ)しい春の森。人間の五感とは「見て、聞いて、味わって、嗅(か)いで、触(さわ)って」。体全体で森を楽しみ、上流橋で酒井さんの話を聞きます。沼でエゾサンショウウオのオタマジャクシも観察します。網ですくい取って観察するので、採取(さいしゅ)用の網とバケツがある人は当日持参してください。森歩きの途中、樹木園(じゅもくえん)では押し葉用のマイリーフを集めます。

③キノコの植菌(しょくきん)体験



ホダ木原木(げんぼく)にドリルで穴を開け、木づちでキノコの菌を植えます。

[保護者へのお願い] この活動は親子協働の作業で、親子単位で行います。原木に穴をあけるドリル操作やキノコの菌を埋め込む木づちの作業には保護者の方の手助けが必要です。積極的な協力をお願いします。

■■■新型コロナウイルス感染防止対策について■■■

【参加者へのお願い】

- ・当日朝は検温して平常体温であることを確認の上参加してください。咳など風邪の症状がある場合は参加をお控えください。なお入林に際しても検温させていただきますのでご理解ください。
- ・マスクの着用をお願いします。不織布を含む二重マスクをおすすめします。なお、熱中症にも気を付け、苦しい場合は周りを確認してマスクを一時外すなどの対応をしてください。
- ・入林時の消毒、活動ごとの手洗い、密集・密接を避ける、などの感染防止の基本行動を保護者も含めてしっかり行ってください。

【協会の対策】

- ・活動の際の感染リスクを減らすために、子どもたちを大きく2つに分けて、活動項目である播種・森歩き・植菌の3つの活動が重ならないように順繰りで行うことにします。
- ・十分な間隔、向かい合わせを避ける観点から座席を再検証して、必要な座席を増設します。
- ・昼食時のリスクが高いため、当日の天気にもよりますが、森の中を広く使って昼食をとるようにします。(敷物を持って来てください)

■その他の注意事項

- ・自宅で作成したネームプレートと協会から借りたバーニングペンを持参してください。
- ・蚊が活発に活動する時期に入ります。防虫スプレーなどを活用してください。
- ・新型コロナウイルスの感染状況によっては中止する場合があります。
- ・当日参加できない場合は、必ず事前に森しり隊隊長または事務局に連絡願います。